



美しい歌声を披露する椋原女声コーラス

**日ごろの成果をステージで披露**

■第12回牧之原市文化祭 芸能発表会

10月22日、い〜らで第12回牧之原市文化祭「芸能発表会」が行われました。市文化協会の会員による発表会で、総勢40組の個人や団体が出演し、歌やダンス、剣舞、詩吟、大正琴など、日ごろの練習の成果をステージで披露しました。また、会場には限定100席のお茶席や相良花道連盟と相良水墨画会による作品が展示されたほか、花の苗木が配られるなど、多くの来場者を楽しませました。

**メジャー大会向け激戦繰り広げる**

■ゴーセンカップ国際レディースオープンテニストーナメント

国際テニス連盟公認「ゴーセンカップ・スウィングビーチ牧之原国際レディースオープンテニス」が10月8日から15日まで、静波リゾートホテル・スウィングビーチで開催されました。シングルス決勝は7年ぶりの日本人対決となり、清水綾乃選手が小堀桃子選手を下し見事、優勝しました。また、ダブルス決勝は井上雅選手・高畑寿弥選手ペアが、西郷幸奈選手・清水綾乃選手ペアとの戦いを制し、優勝しました。



激しい打ち合いを制し優勝した清水綾乃選手

**いいにおいがして甘〜い**

■みかん狩り／牧之原保育園

10月26日、牧之原保育園の4・5歳児59人がふるさとの森（勝間田区）周辺のみかん畑でみかん狩りを体験しました。この畑は、牧之原保育園に通う園児の家族が管理するみかん畑で、園児らは甘いみかんの見分け方や採り方を教えてもらいながら、次々とみかんを持ってきたビニール袋へと入れていきました。みかんを食べた園児は「いいにおい」「甘いね」といいながら喜びました。収穫したみかんは、家族へのお土産として持ち帰りました。



甘そうなみかんを選びながら収穫する園児



大きな掛け声とともに荒々しく御船を担ぐ船若たち

**海運興隆と海上安全を祈願して**

■神明神社の御船神事

市指定無形民俗文化財「神明神社の御船神事」(細江区)が10月8日に行われました。神事は、江戸時代後期から続いている、海運興隆と海上安全を祈願する伝統行事です。船若と呼ばれる地域の青年が、長さ約2.6メートルの御船を担ぎ「ヤッサー、コラサー」の掛け声に合わせて、船が荒波を越えていくように激しく前後に傾けながら敷地内を練り歩きました。訪れた観客は、その姿を写真や動画撮影をしながら、大きな歓声と拍手を送っていました。



坂部区民や関係者に見送られながら出発した「さかべ号」

**他地区導入に向け試験運行開始**

■デマンド(予約型)乗合タクシー「さかべ号」

利用者の予約に応じて目的地まで運ぶデマンド乗合タクシーの出発式が10月3日、坂部区民センターで行われました。デマンド(予約型)乗合タクシーは、75歳以上の高齢者や障がい者、自動車運転免許を持っていない人、要介護・要支援認定者などが利用対象で、登録者の自宅と地域の公共施設やスーパー、病院などの特定施設を結びます。今後、坂部地区で1年半試験運行され、市内他地区でのデマンド乗合タクシーの導入について検討を進めていきます。出発式に参加した天石吉彦区長は「たくさんの方に利用してほしい」と呼びかけました。

**さまざまな世代が集まり意見交換**

■第14回身近な福祉について語ろう

「身近な福祉について語ろう」が10月2日、椋原文化センターで行われ、中学生や大学生、民生委員、社会福祉協議会職員など約70人が参加しました。「みんなが気持ちよく暮らすには」をテーマとした意見交換では、「困っている人がいたら声をかける」「福祉のことを勉強」など、自ら取り組もうとする積極的な意見が出されました。参加した中学生は「家族や友達と話をし、いろいろな人の意見を聞きたい」と話しました。



さまざまな世代の人たちが福祉について語り合う



「青い海と白い波のソーラン」を披露する川崎小の児童

**健康と福祉をもっと身近に**

■さざんかふれあい広場2017

さざんかふれあい広場が10月1日、さざんかで開催されました。健康や福祉に対する理解を深めてもらい、子どもや高齢者、障がい者など地域住民の誰もが楽しんでもらえるよう、市社会福祉協議会が毎年開催。会場では福祉やボランティア団体などがブースを出店し、自主製品の販売をしたほか、川崎幼稚園児によるマーチングバンドや川崎小学校児童によるソーラン、はいばら太鼓のパフォーマンスなどが行われ、2,500人の来場者でにぎわいました。



ズームイン！  
カシャ！！  
広報担当がどこにでも取材に行きます。  
あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp